

ALV™ ALV2.0

- デスクトップ版 ALV シリーズの最新バージョン
- 描画能力と運用パフォーマンスが大幅向上
- 直感操作により情報の宝庫である映像を様々なシーンで活用可能

移動計測装置 (IMS シリーズ) で撮影した映像を活用する 3 DGIS アプリケーション

全地球映像の表示

- 視認性に優れた死角のない映像を高速表示 ●



● 路面に死角の無い全地球映像

自車両を自動的に消去することにより、路面の状況を視認することができます。



● 法面映像

スマート点検により斜め上方アングル映像で法面現況を把握できます。

● 上下カメラ切替

上カメラから下カメラに切替えると、路面の状況をより至近距離から確認できます。

3D タグによる台帳管理

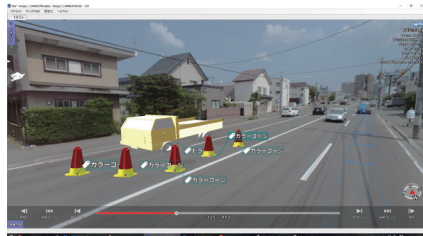
- 関連資料を画像に直接アクティブリンク ●



- 映像上に施設構造物等の関連情報を 3D タグでピン止め
- デジカメ写真や PDF、URL 等を格納可
- 一覧からタグを検索すると、その地点の対象物の映像にジャンプ

3D モデル合成

- 実写に 3D モデルを合成する AR 機能 ●



- 標識や照明灯、歩道等の設置のビフォー / アフターを確認
- コーン配置による交通規制や人員配置による警備検討

2D 地図との連動

- 現在地点をフリーマップ上に表示 ●



- 2D 地図・映像上の軌跡をクリックして見たい地点にジャンプ
- インターネットとの接続環境において © OpenStreetMap contributors や 国土地理院の地理院地図と連動

3次元計測

画像の背景に 3次元座標付きのレーザー点群 (ポイントクラウド) がある訳ではなく、ユーザーの点指定のリクエストに応じて、カメラの位置と姿勢 (6 変数) のみから、本来 2次元である映像上の各点を 3D 座標としてその都度瞬時に計測します。

- レーザー点群を用いない画像処理型計測 ●



オート計測

映像上の計測したい点を 1 クリックすることにより 3次元計測を行います。クイックな計測時に便利です。



マニュアル計測 (推奨)

映像上の計測したい点を異なるフレームから 2 クリックすることにより 3次元計測を行います。エピソード機能 (補助線) を使用すれば、より正確な 3次元計測ができます。



電柱等の高さや傾きを計測できます

カメラから 20m 以内の点であれば、エピソード機能 (補助線) を使って正確に点を取れば、相対計測の誤差は数 cm に収まります。

Left view

Right view